

小学校第4学年
社会科

奈良県の特色ある地域の様子
～大和郡山市と金魚～

学習のねらい

- 大和郡山市の人々が協力し、金魚に関わるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。
- 地図帳や各種の資料で調べたことを白地図にまとめるなどの地理的技能を身に付ける。
- 大和郡山市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、資料から調べたことや考えたことを表現する。
- 大和郡山市のようすについて、金魚というテーマを通じて、主体的に問題解決しようとする態度を養う。

郷土の資源について

大和郡山市における金魚養殖は、享保9年（1724年）に柳澤吉里が甲斐国（山梨県）から大和郡山に入部したときに始まったと伝えられている。幕末の頃には大和郡山藩最後の藩主である柳沢保申の援助を受け、藩士の副業として、明治維新後は、廃藩置県で給料を得られなくなった藩士が鑑賞用に金魚の養殖を商売として手掛けたことで、金魚産業が広まっていったといわれている。

また、水質、水利に恵まれた農業用ため池が数多くあり、ため池に発生する浮遊生物が金魚の稚魚の餌に適しているなど、金魚養殖に有利な自然条件が備わっていた。

学習指導要領上の位置付け

第4学年 県内の特色ある地域の様子

学習の流れ

- | | |
|---|------|
| 1. 大和郡山市の金魚について知り、調べたいことを整理する。（本時） | 1 時間 |
|  | |
| 2. 金魚に関わるまちづくりや観光などの産業について調べる。 | 1 時間 |
|  | |
| 3. 大和郡山市を訪問し、現地で調査を行う。 | 2 時間 |
|  | |
| 4. 調べたことをまとめる。 | 1 時間 |
|  | |
| 5. 調べてまとめたことを発表する。 | 1 時間 |

展開例（本時 1 / 6）

	学習活動	指導上の留意点（※評価規準）	備 考
導 入	○奈良県の日本一について知っていることを出し合う。 ○大和郡山市の金魚について知っていることを出し合う。	○児童自身の経験を想起させながら、思いついたことを自由に答えさせる雰囲気づくりをする。	
	なぜ、大和郡山市は、金魚が有名なのだろうか。		
展 開	○本時の問いに対する予想を立てる。	○予想を立てさせ、発表させる。 ○発表された予想に対して、ペアや小グループで「なぜ、その予想になったのか」についてお互いに問いかけ、予想の根拠を明確化させる。	・ＩＣＴ機器を使い、児童の予想等を共有し、いつでも他者の学びを参考にできるようにする。
	○予想とその根拠を整理し、予想とその根拠の正しさを調べる方法や必要な資料を考える。	○クラスで出てきた予想とその根拠を分類して大まかにまとめる。	
	○次時以降の調べる学習の予定を立てる。	○個人で調べる、グループで調べる、インターネットで調べる、教科書で調べる、インタビューして調べるなど幅広く調べる学習の予定を立てさせる。 ※主体的に、問題解決に向けて活動する計画を立てている。	・調べ方は随時変更可能。
ま と め	○本時の学びについて振り返る。	○本時でわかったこと、新たに出てきた疑問を記録させる。	・Forms 等を使い、学びの蓄積が可視化できるように工夫する。

発展的な学習の例

- ・総合的な学習の時間で、身近な地域について探究的な学習を行う際、社会科で獲得した知識や調査方法を活用する。

参考 Web ページ

- ・大和郡山市
<https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/index.html>